

第13回 歴史地震史料研究会

2025年11月23日(日) 12:55~17:10 オンライン開催

◆研究発表会プログラム◆

13:00~14:00 口頭発表セッション1

- 齋藤瑞穂・鈴木正博 仙台湾弥生土器編年と地震津波研究
—仙台湾最古の水田経営と松島湾の縄文／弥生貝塚形成論—
- 前沢響暉 遠江国白須賀の「湊」と明応地震
- 松岡祐也 織豊政権期における京都の地震と祈禱

14:15~15:35 口頭発表セッション2

- 矢田俊文 年代記「横越島旧事記」に関する一考察
—1670年越後蒲原地震を中心に—
- 片桐昭彦 近世佐渡の年代記と地震
- 西山昭仁・石辺岳男・片桐昭彦 近世佐渡における被害地震の検討
- 原田智也・西山昭仁・石辺岳男 京都・奈良において有感となる地震の
震源・マグニチュードの検討—日記史料中の有感記録の活用に向けて—

15:50~17:10 口頭発表セッション3

- 原直史 1828年越後三条地震における村上藩の対応について
- 原田和彦 地震と複合災害—飛越地震を中心に—
- 岡崎佑也 鯨絵にみる安政期の災害認識
～鯨絵に描かれた他の地震の「鯨」について～
- 中村元 20世紀前期日本の地方測候所における地震の「管内観測」について

事前申込制によるZoom(ウェブ会議システム)を用いたオンライン方式で行います
参加申込: メ切 11月19日(水)、下記URL または QRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/7Dv5tbvR2TnYpDbT8>

問い合わせ先

片桐昭彦(新潟大学人文学部, 災害・復興科学研究所兼任)

E-mail: katagiri@human.niigata-u.ac.jp

